



六中だより

～学校教育目標～

“ 学力と情操 ”

“ 健康と忍耐力 ”

“ 勤労と責任 ”

働くこと

校長 相馬 朋行

11月7日(月)に1・2年生を対象とした職業講話が行われます。また、11月23日(水)は勤労感謝の日です。そこで、今号では、「働くこと」についてお話をします。

働くことについては、いくつかの意義や意味があります。

まず1つ目は、「収入を得ること」です。これを聞いて、当たり前じゃないかと思った人も多いのではないのでしょうか。しかし、私たちは、収入を得なければ生活することができません。したがって、「収入を得る=お金を稼ぐ」ということは必要不可欠なことであり、働くことの1番目の意義と捉えられます。しかし、収入を得るためなら職業をきちんと調べずになんとか選んで決めても良いかというところではありません。自己の特性に合わない職業や関心のない職業に就いてしまうと思うように仕事ができず、苦痛ばかり感じてしまうことになりかねません。

そこで、「働くこと」の2つ目の意義として、「生きがいを感じ、自己実現を目指すこと」が挙げられます。職業を選択する際は、自分がどんな職業に就き、そこでどんなことをやりたいのかを明確にすることが大切です。そのようにして決めた職業で仕事をしていると、何かを成し遂げたいとか何かを実現したいという気持ちが湧いてきます。与えられた仕事を与えられた通りに行くだけでなく、自分の考えで創意工夫をしたり他者と協働して取り組んだりするようになると達成感や生きがいを感じるようになります。そして、さらに自己の技術を高めようと一層の努力をして自己実現を目指していくことになります。

「働くこと」の3つ目の意義として、「社会貢献をすること」が挙げられます。私たちは社会の中で互いに協力し、助け合いながら生活をしています。たった一日の生活の中でもたくさんの「働いている人」のお世話になっていますし、「働いている人」自身も働くことで社会貢献をしています。人は、誰かの役に立ちたいという潜在的な願望があるので、働くことはその人自身にとって非常に有意義なことなのです。

このように働くことには様々な意義や意味があります。生徒のみなさんも自分を見つめ、自分の個性を認識して、将来どのような職業に就きたいかを考えてみるようにしてください。

さて、最後に、11月23日(水)の勤労感謝の日についてお話します。勤労感謝の日は、新嘗祭(にいなめさい)という神様に新穀を奉納する秋の宮中儀式が由来となっています。日本では古代から農作物の収穫を祝うことが重視されてきたので、「食や収穫」に対する感謝の気持ちが強いとされています。その「感謝」の気持ちを「勤労」にまで広げたのが勤労感謝の日です。勤労感謝の日は「国民の祝日に関する法律」によると「勤労をたっぴ、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」という趣旨で制定されたそうです。ここでいう「勤労」には、会社などで給与を受けて働くことだけでなく、給与の発生しない家事や育児なども含まれます。つまり、広い意味で働いている人に対して、お互いに感謝することを目的とした日なのです。生徒のみなさんは、勤労感謝の日には、普段、「勤労」している家族や近所の知り合いに対して、気持ちを込めて、「毎日おつかれさま、いつもありがとうございます」と言ってみてはどうでしょうか。

令和4年度 合唱コンクール



10月21日(金)、府中の森芸術劇場どりーむホールにて合唱コンクールが開催されました。本年は3年ぶりの全校開催となり、生徒たちは全学年の前で歌うことができました。保護者のご参観は学年ごとに入れ替え制になりましたが、約1か月に及ぶ練習の成果、子どもたちの成長を直接ご覧いただけたことはとても嬉しいことでした。

会場まで足を運んでくださった保護者の皆さま、誠にありがとうございました。



◎合唱コンクール特別審査員 穂積 磨矢子先生について◎

10月21日(金)に行われた合唱コンクールに特別審査員として 穂積 磨矢子 先生をお招きしました。閉会式の講評では、分かりやすいお話で生徒のみなさんの関心を引き寄せるとともに美声を披露してくださいました。

穂積 磨矢子 先生は、藤原歌劇団団員、日本演奏家連盟会員として活動されており、オペラソリストの会並びに The 練馬区オペラ合唱団の主宰(=人々の上に立ち、中心になって物事を行うこと)もなさっている高名なソプラノ歌手です。

穂積先生は、「六中の生徒は素直で礼儀正しい。合唱レベルが高く、言葉がしっかり聞き取れる。感動しました。」とおっしゃっていました。講評では、ボイストレーナーとしての観点から発声の仕方、呼吸の仕方について専門的な知識を教えてくださいました。穂積先生が最後におっしゃったみなさんへのメッセージを改めてここに掲載します。

「歌を歌うことはアスリートと同じです。身体をしっかりと使って歌ってください。また、正しい姿勢できちんと毎日の生活をしてください。そして、いつまでも歌を忘れずに生きてください。」



表彰式



金賞

1年6組・2年5組・3年2組



銀賞

1年4組・2年4組・3年4組



銅賞

1年5組・2年3組・3年1組

道徳授業公開講座へのご参加 ありがとうございました

10/1（土）道徳授業地区公開講座と意見交換会を行いました。

今年度は「遵法精神と公德心」をテーマに「**集団や社会の中で意見をまとめていく時に大切にすべきことについて考え、実践する意欲を育てること**」をねらいとして各学年で読み物資料を使用して道徳の授業を行いました。

授業後の意見交換会では保護者の方々から「日頃、家庭でも話さないような題材だったので、このような題材で考える機会がもててありがたい」「生徒と一緒に何が大切かを考えることができた」という貴重なご意見をいただきましたことについて御礼申し上げます。

最後に、道徳心は道徳の授業内だけで育むものではなく、家庭や学校生活全体の中で育まれます。学校、保護者の皆さま、地域と協力し合うことで生徒の心が育つようにこれからもご協力よろしくお願い致します。



授業の様子（2年生）

少人数で班をつくり、意見を交換しました。



授業の様子（1年生）

マグネットシートに班ごとに意見をまとめ、学級全体で意見交換をして、共有することができました。



【第2回 小中連携の日】



10月19日(水)に第2回「小中連携の日」が府中第四小学校にて開催されました。六中学区の児童・生徒のよりよい成長のために、小学校三校（小柳小、南白糸台小、府中第四小）と六中が連携することを目的としています。当日は五校時の授業参観とその後の協議会に本校の教員も参加しました。今年是一年生から六年生まで全学級の授業を参観することができました。一年生たちが植物の観察レポートをタブレット端末で一生懸命作成する様子や、四年生が慣用語の意味や用法を学んで相手に伝わる使い方を考える様子に驚かされました。

協議会では、各部会に分かれて、小学校と中学校での学習習慣や総合学習の手法について協議しました。レガシー教育の部会では、六中で9月にお招きした大野靖之さんのライブを紹介し、小学校からはボッチャ体験会や地域学習の事例を紹介してもらいました。どの部会も、六中学区の教育活動の共有と連携のために活発に話し合うことができました。

部活動の活躍

●柔道●

第九ブロック柔道新人大会

第1位 2年生男子

●卓球部●

第44回府中市公私立中学校卓球大会

団体戦 2年女子 準優勝

女子の部 準優勝

北多摩南地区夏季ランキング大会

女子団体 第4位

第9ブロック中学校卓球選手権大会

女子団体 第3位

●バドミントン部●

第63回府中市民体育大会秋季大会 バドミントン競技 少年の部

中学1年生 男子シングルス 優勝 1年生男子

中学1年生 男子シングルス 準優勝 1年生男子

中学1年生 男子シングルス 第3位 1年生男子

●テニス部●

第63回府中市民体育大会秋季大会 庭球競技 少年の部

中学生男子シングルス 準優勝 3年生男子

中学生男子シングルス 第3位 2年生男子

中学生女子シングルス 準優勝 2年生女子

●陸上部●

第63回府中市民体育大会秋季大会 陸上競技 中学校対抗

中学生男子砲丸投げ 優勝 3年生男子

中学生女子100m 優勝 2年生女子

